

保護者向け 放課後等デイサービス評価表 集計結果（公表）

公表：平成 30年 3月 30日

事業所名 どじょっこ 利用児数 12名 回収 8名 (66.7%)

実施期間 平成 29年 12月 18日 ～ 平成 30年 1月 13日

| | チェック項目 | ご意見 | | |
|-------------------|---|-----|------------|-----|
| | | はい | どちらか いい | いいえ |
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動のスペースが十分に確保されているか | 6 | 2 | |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 6 | 2 | |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 6 | 2 | |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 8 | | |
| | 5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 7 | 1 | |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 6 | 2 | |
| 保護者 への 説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 8 | | |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 7 | 1 | |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 8 | | |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか | 5 | 3 | |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 | | |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 6 | 2 | |
| | 13 定期的にホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 8 | | |
| 14 個人情報に十分注意しているか | 8 | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|-----------------|
| | | | | | | |
| 非常時等の対応 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 4 | 4 | | |
| | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 4 | 3 | | わからない |
| 満足度 | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 8 | | | |
| | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 8 | | | 金曜日も宿題をやらせて頂きたい |

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 30年 3月 30日

事業所名 どじょっこ

| | | チェック項目 | はい | どちらか いい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標 |
|------------------|----|--|----|------------|-----|--|-------------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 3 | 0 | 0 | 子どもたちがのびのびと活動できるよう、物の配置をしている。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 3 | 0 | 0 | | |
| | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている | 0 | 2 | 1 | | 階段に手すりがあればよい。 完全なバリアフリーではない |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 1 | 2 | 0 | 子ども達のことについて常に情報交換を行い、職員で話し合っている | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケートを実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 2 | 1 | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 1 | 1 | 1 | | 今後公開する予定。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務課前につなげている | 0 | 3 | 0 | | 必ずしも業務改善につなげているとは言えないので、今後つなげていきたい。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保している | 3 | 0 | 0 | 法人内の勉強会に参加するとともに外部の研修にも積極的に参加している | |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 2 | 1 | 0 | 丁寧な聞き取りをしたうえで個別支援計画を作成している。保護者や子どもたちそれぞれに合ったニーズに対して作成している。 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 3 | 0 | 0 | 関わり分析を用いて行っている | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 2 | 1 | 0 | 子どもたちの様子をよく見て活動プログラムを立案している。 | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工 | 1 | 2 | 0 | | 固定化した活動プログラムを |

| | | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---|---|--|
| | | 夫している | | | | | 行っている |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定している | 2 | 1 | 0 | その時々に応じて課題を設定している。土曜日に食育を取り組んでいる | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 2 | 1 | 0 | 子どもの状態をよく見て個別と集団活動を取り入れている | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 1 | 2 | 0 | | 話し合いは適宜行っているが、毎日必ず打ち合わせはしていない。今後おこなっていく。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している | 1 | 2 | 0 | 共有ノートを利用している。 | その日のうちに振り返りを行うことはできていない。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 3 | 0 | 0 | 記録は正しく行い、支援の検証に役立っている。 | |
| | 18 | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 3 | 0 | 0 | モニタリングによって得られた情報を基に見直しの必要性を判断している。 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせた支援を行っている | 2 | 1 | 0 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している | 3 | 0 | 0 | 子どもの状態・状況をよく知る者が出席している | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）を適切に行っている | 3 | 0 | 0 | 送迎時にその子の当日の学校での様子などを聞くことにより、その日の子どもの体調や調子を知ることができている。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えている | 1 | 2 | 0 | 現在受け入れ無し。 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 2 | 1 | 0 | 密に連絡を取り合っている | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 1 | 2 | 0 | | 現在、どじょっこから福祉サービス事業所への移行はない |

| | | | | | | | |
|------------|----|--|---|---|---|--|----------------------------|
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 2 | 1 | 0 | | 近くにそのような機関がないためなかなかその機会がない |
| | 26 | 放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 3 | 0 | 0 | 法人内の学童保育の子どもたちと一緒に行事を行っている | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 1 | 1 | 1 | どうしても都合のつかない場合以外は出席している | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 3 | 0 | 0 | 毎日お迎えの時や機会を捉えて伝えあいを行っている | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 0 | 2 | 1 | ペアレントトレーニングではないが、保護者が困っていることなどには対応法などを教えて、それでもわからない時には具体的に示している。 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 3 | 0 | 0 | 説明は十分に行っている | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 3 | 0 | 0 | 助言や支援を行っているが、対応できない時は上司に報告・相談し、適切な対応を心がけている | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 0 | 3 | 0 | 保護者会を開催している | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 3 | 0 | 0 | 苦情があった場合には確実・的確な対応をするように職員間でも意識の徹底をしている | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信している | 3 | 0 | 0 | 毎月どじょっこ便りを発行している | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 3 | 0 | 0 | 扱いは慎重に行っている。カギ付きの場所に保管している。 | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 3 | 0 | 0 | その子、各保護者に応じた対応をしている | |
| | 37 | 事業帆の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 3 | 0 | 0 | 地域の方々との交流は定期的に行っている | |

非常時等の対応

| | | | | | | |
|----|---|---|---|---|--------------------------|------------------|
| 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 2 | 1 | 0 | | 徹底を図っていく |
| 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 0 | 3 | 0 | | 今後定期的な訓練を計画していく |
| 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 3 | 0 | 0 | 虐待に対する意識は高く持つように常に心がけている | |
| 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 1 | 2 | 0 | | そのような子どもは在籍していない |
| 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 0 | 3 | 0 | | アレルギーの子供の在籍無し |
| 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 1 | 2 | 0 | | 今後作成予定 |